

かなざわさいがわみなみ

金沢犀川南地区 (二期)

(石川県金沢市)

- 計 画 期 間 平成 23 年度～平成 27 年度
- 面 積 650 h a
- 交付対象事業費 4,101.3 百万円
- 市人口 447,209 人

ポイント 交通結節機能の強化と
安全で安心な住みよいまちづくり

地区概要 自由通路など JR 西金沢駅周辺整備により
交通結節拠点としての機能強化を図る。
また、新幹線側道整備や耐震性貯水槽の
設置などにより安全な歩行空間、安全で安心
な住環境を創出する。

目 標 交通結節機能を強化するとともに、安全で安心な居住環境を確保し、豊かで住みやすい
まちづくりを推進する。

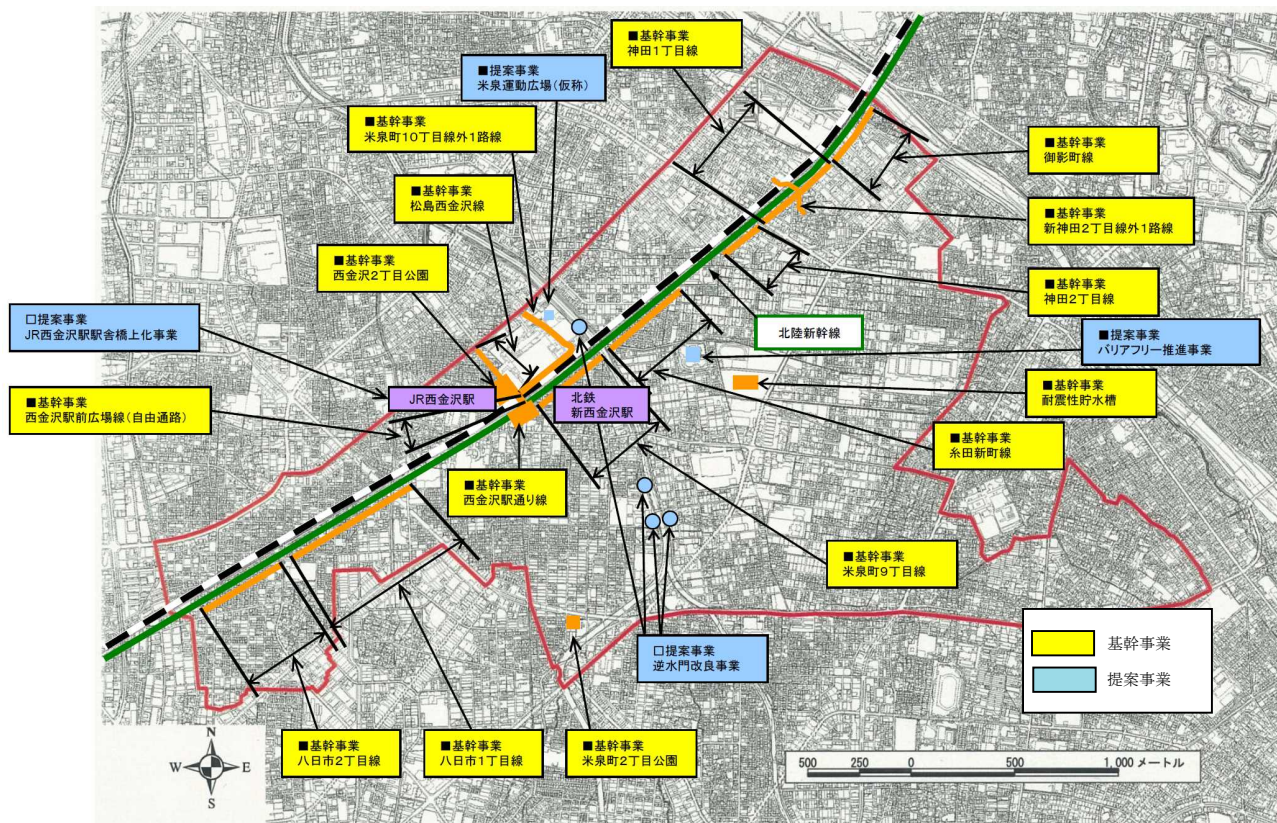
指 標 交通結節機能の強化としての駅の利便性の向上と駅利用者の増加を目標とするとともに、
安全・安心な居住環境の確保として区域内人口の増加を目標とした。

指標	従前値 (H22)	目標値 (H27)	評価値 (H27)
JR 西金沢駅利用者数の増加	822,399 人/年	840,000 人/年	851,909 人/年
駅まで徒歩5分圏内の面積増加	12ha	20ha	46ha
区域内人口の増加	33,165 人	35,000 人	34,768 人

事業内容

基幹事業 (3,824.6 百万円) → 道路 (W=3m~16m L=3,940m)、公園 (2 箇所 2,574 m²) など

提案事業 (276.7 百万円) → JR 西金沢駅駅舎橋上化、逆水門改良事業、米泉運動広場 (仮称)、バリアフリー推進
事業、金沢犀川南地区事業実施効果調査



地区の現況と課題

本地区は西金沢駅を中心に工場と共存しながら住宅地が広がっているが、西金沢駅には JR 北陸本線、北陸鉄道石川線、路線バスが乗り入れ、周辺の工場や高校への通勤、通学など交通結節点として重要な役割を果たしている。

しかし、西側から駅にアクセスするためには、自動車通行量の多い危険な踏切まで迂回せざるを得ず、自由通路の整備が急務となっていた。また、平成 26 年度の北陸新幹線開業にあわせ、駅周辺の一体的な整備が求められていた。



J R 西金沢駅（整備前）

自由通路の整備

【(都) 西金沢駅前広場線（自由通路）】



整備前



整備後

提案事業の特徴

交通結節機能の強化

駅の橋上化により駅の利便性の向上を図る。

安全で安心なまちづくり

耐震性貯水槽の設置や逆水門の改良により、安全で安心な住環境の創出を図る。



J R 西金沢駅（駅舎橋上化）

計画策定プロセス

西金沢駅周辺まちづくり協議会

地域に暮らす住民が主体となったまちづくりを推進するため、行政と住民・企業が協力し合い、町会、商工振興会など地元の代表で構成された協議会により地域の将来像について検討し、周辺整備計画を策定した。